

# 人とまちづくり 仲間とともに

## 富良野 青年会議所



▲ギターの演奏に合わせて客席の各地域のJCを紹介



▲重綱シニアクラブ会長をはじめ、先輩たちから温かいエールが送られた

「富良野が好きになるような活動をしながら、自分たちの活動が見える形でみなさんに発信していきたい」と今年の目標を掲げる安藤理事長。富良野青年会議所は「夢は大きく、根は深く」を合言葉に、今後地域を盛り上げながら、人やまちづくりのためにさまざまな活動をしていきます。

「富良野が好きなようになる中、記念すべき日を祝いました。光や音など舞台装置を活用し、演劇を見ているような演出を企画した荏原克之室長は「道内屈指の舞台装置を使って、富良野らしさや自分たちのやりたいことを伝えたい」と初の試みとなる式典への思いを話します。

**明** るい豊かな社会を実現するために昭和30年に設立され、道内で81番目の青年会議所として認証された富良野青年会議所（安藤豪敏理事長）。20代から30代までの若者で構成され、さまざまな職種の男女25人が活動しています。

青年会議所では、経営者としてのスキルアップをはじめ、各種研修会や例会などを実施。会員同士学び合

いながら、まちづくりにつながる人づくりを行うほか、市内の観光事業や青少年育成事業などに関わり、さらに女性が活躍できる場づくりも模索しています。「自分たちの活動を見せることで、たくさんの方が関わってくれたらと思います。花火大会など、地域に埋もれているものを発掘しながら日々活動していきたい」と話す安藤理事長。活動内容も毎年変化させながら、まちの発展につながる取り組みを展開しています。

また、5月16日には富良野演劇工場で創立60周年記念式典を開催。友好都市西脇市の青年会議所をはじめ、道内20力以上の青年会議所や富良野のOBたちが集



▲ドレス姿の女性が登場し会場を盛り上げた西脇JCとの記念品交換